

なかよしばたけのおじさん ありがとう

ようちえんにあるなかよしばたけに、イチゴのしろいはながさきました。ねんちょうさくらぐみのたっくんとだいちゃんは、なかよしばたけでだんごむしさがしにむちゅうです。

「あっ、しろいはながさいてるよ。」

「ここにみどりいろのイチゴもあるぞ。」

「みんなにだいはっけんっていつてこよう。」

「よし、きょうそうだ。」

ふたりは、へやまではしっていきました。

ふたりのはなしをきいた、さくらぐみのこどもたちがなかよしばたけにやってきました。

「イチゴたべたいな。」

「はやくあかくなればいいのになあ。」

「このイチゴはせんせいがうえてくれたの？」

「いいえ、じつはね、はたけのおじさんがうえてくれたのよ。」

「はたけのおじさんってだれ？」

「あっ、ぼくしってるよ。なかよしばたけのおじちゃんだよ。」

「しってる、しってる。ちいさいトラックでようちえんにくるひとだね。」

「そうなんだあ。」

さくらぐみのこどもたちは、それぞれにうなずいていました。それから、みんなはまいにちイチゴのようすをみまもったので、おおきくてまっかなイチゴができました。そして、みんなでイチゴをいっぱいたべまし



た。

しばらくすると、なかよしばたけではタマネギやジャガイモがおおきくそだちました。

「さあ、きょうはなかよしばたけのタマネギをひきましょう。」

とせんせいがこえをかけました。

「わあい。タマネギひきをするんだって。」

「ぼく、いっぱいひこう。ちからもちだから。」

「ちいさいぐみさんもさそいにいこう。」

「みんなでちからをあわせてひいてきたら、ここにくくってかわかすからね。」

「はあい。がんばるぞ。」

わいわい、がやがやみんなでタマネギひきをして、おじさんがつくってくれたほしぼにかわかしめました。

「きょうもはたけのおじさん、こなかったね。」

「こんなに、いっぱいとれたから、みせたかったのに。」

「ありがとうっていいかったよなあ。」

「そうだね。こんどこられたらわすれずにおれいをいおうね。」

つぎのしゅうのジャガイモひきのひにも、やっぱりはたけのおじさんはこられませんでした。

「はたけのおじさん、どうしたのかなあ。」

こどもたちがはたけのおじさんをしんぱいするようすをみていたせんせいは、はたけのおじさんがこられないわけをいつはなそうかなあとかんがえていました。



へやにもどったこどもたちにせんせいは、はなしはじめました。

「はたけのおじさんがこられないのを、みんながしんぱいしているからおはなしします。じつはおじさんは、びょうきになられておうちでやすまれています。そのあいだはみんなではたけのせわをしてほしいそうです。」

「ええ！びょうきになったって？」

「だいじょうぶかな？」

「ぼくもびょうきのときはようちえんをやすんだもん。」

「びょういんにはいったのかな？」

「はたけのおじさんにタマネギもジャガイモもいっぱいとれたよってしらせよう。」

「もうすぐカレーパーティーするから、げんきになってきてもらおう。」

「うん、きてくださいっておてがみをかこう。」

カレーパーティーのひ、げんきになったはたけのおじさんはにこにこえがおでようちえんにきてくれました。こどもたちがやさいをきったり、つくえをじゅんぴしたりしているすがたを、やさしくみまもってくれました。

「さあ、みんなでカレー
をいただきますしょう。」

「わあい。うれしいな。
いただきます。」

おじさんといっしょの
テーブルにすわったたっ
くんやだいちゃん、は
たけのおじさんとたくさ
んはなしをしました。

「ぼく、きれいなタマネギがたべられるようになったよ。」

「ほう。よかったなあ。」



「ようちえんのやさいはおいしいもんな。」

「そうかい。いっぱい食べるんだよ。」

「うん、おじさん。ありがとう。」

「いやいや。みんながよろこんでくれたらおじさんもうれしいんだよ。」

みんなからおじさんに、イチゴややさいのおれいをいいました。

それから、おじさんはなかよしばたけにきて、キュウリやトマトのせわをしてくれました。

それをみていたりゅうくんは、いっしょにてつだいたいといいました。

「ぼくがこのぼうをもってるからね。」

「よしよし、しっかりもってるんだぞ。」

「うん、ぼくもおてつだいできるよ。」

「そうだね。えらいぞ。」

りゅうくんとおじさんは、あせをかきながらにこにことやさいのたなづくりをしました。

「ぼく、キュウリができたら、いちばんにとるんだ。」

「キュウリがすきなのかい？」

「うん。だいすきだよ。」

「みんなでなかよく、食べるんだよ。」

おじさんはにこにこわらって、りゅうくんのあたまをなでてくれました。

いまでも、おじさんはあさはやくようちえんにきて、やさいのせわをしています。こどもたちがわらってげんきにあそんでいるすがたをみるのがうれしいからです。みちでであうと、

「なかよしばたけのおじさんだ。」

とこえをかけてくれるようちえんのこどもたちがだいすきだからです。